

職員の皆様、あけましてお目出度うござります、というにはいさか遅きに失するのですが、「麦の穂」の今年第一号なので、とりあえずこの様に申し上げます。

今年は二年に一度ある診療報酬改定の年です。古い開業医の先生方は、この時期を心待ちに待つて樂しみだったそうです。

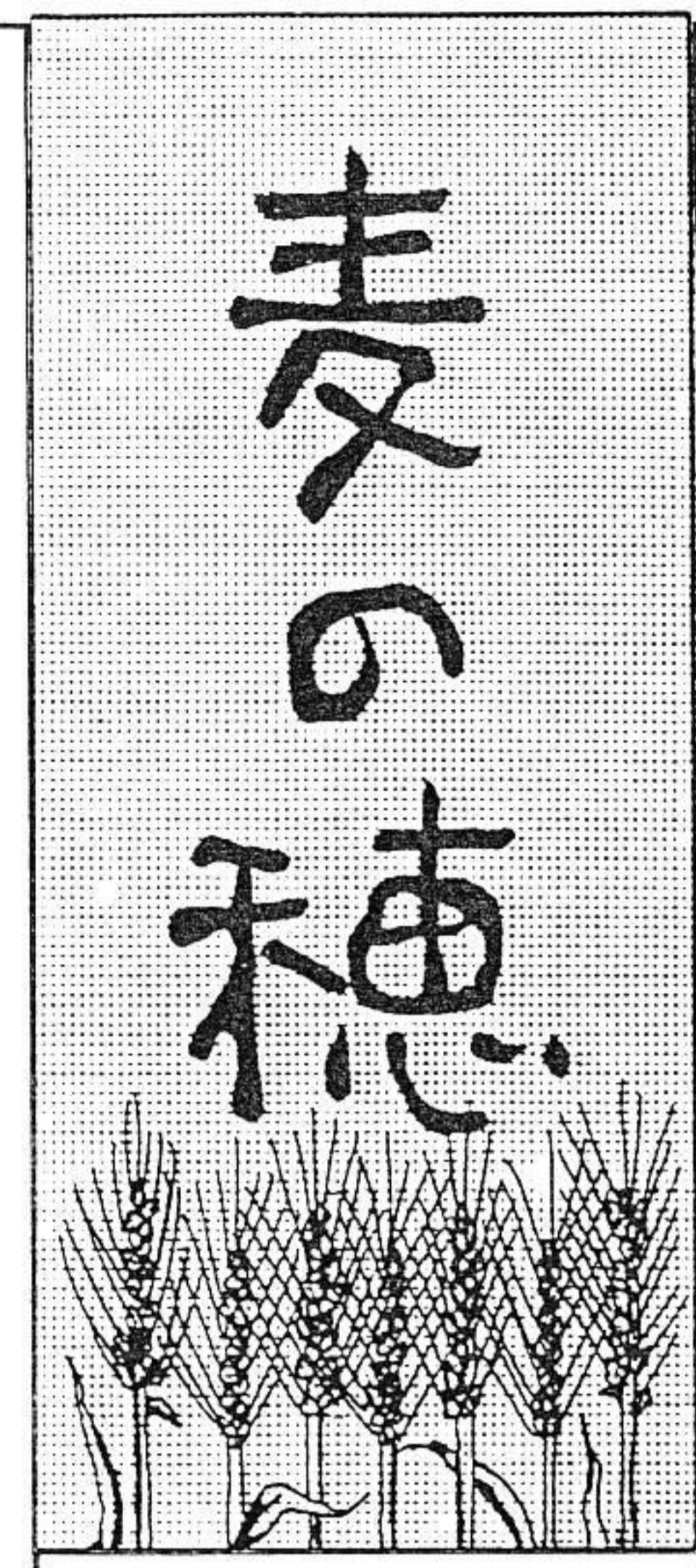
しかし、現在は長期にわたる厚生省の医療費抑制政策が続く中で、今回は実質〇・八%のアップといわれ、大蔵官僚はマイナス改定とうそぶいているそうで、とても人件費増（人事院勧告一・八%アップ）に見合った改定ではありません。今、国会論議の最中にある、住専処理にあたられる六、八五〇



億円を医療財源にまわせば、今回の改定で一〇%アップになるとと言わ

れているのを耳にすると、税金の使途についてやり切れないものを感じます。

広報ひろしま市政と市民（平成八年一月十五日発行）によりますと、民間企業と同じように独立採算を原則とする会計により、平成七年度広島市民病院が十二億三、八二八万円の赤字、安佐市民病院が五億五、六七六万円の赤字となっています。眞面目に良質の医療に取り組み、かつ収入の増加と支出の抑制に努めた結果がこの2病院の赤字なのです。良質の医療を患者さんに与えるためには、現在の診療報酬体制では、いかに困難であるかを物語るもののです。全国の病院の約七割が赤字病院化しているといわれています。しかし、



1996. 第4号
荒木脳神経外科病院
新聞委員会発行

公的病院では補正予算により赤字は充填されますが民間病院ではそうはいきません。従って民間病院には公的病院をはるかにしのぐ厳しいものがあります。このことを頑張ってゆくしかありません。

広島県平成六年人口動態によると、広島県では十八分十一秒に一度生きています。人生まれ、二十四分二十一秒に一人が亡くなり、一日で約二十人ふえていることになるそうです。このところが、二十一世紀が高齢化社会を迎えるという原点なのです（即ち、人口の中で老人の占める比率が高くなる）。

そこで厚生省は、平成元年に、高齢者保健福祉推進一〇ヶ年戦略（俗にゴールドプラン）を行政主導型、経済誘導型で実施しつつあります。ですが、増える見込みのない医療財源の中でやろうとしているわけで、絵にかいしたモチで、実情にあつた良いものができるはずがないわけです。

厚生省は六十五才以上を老人といいうようですが、しかし今の五才以上の世代は、無残な戦争体験をし、そして戦後の日本をここまで繁栄に導いた主役達でもあります。このように、日本復興に貢献した人達に対して厚生省は、老

人医療包括化と称して、老人に対しては手厚い医療はするな、といわないばかりの政策を推しすすめています。

広島県は、藤田雄山知事にてから、キヤッチフレーズ「日本で一番住みやすい生活環境ひろしま」をめざして、二〇〇五年を目指に第四次長期総合計画を発表。その内容は、生活環境の総合的整備をはじめ、魅力ある地域社会の形成、高規格幹線道路、空港、港湾などの交通基盤の整備、国際交流の推進、産業構造改革の推進などの施策を積極的に展開し、県民ひとりひとりが、誇りを持ち「広島県に生まれてよかったです、住んでよかったです」と実感できるような県土づくりに努めるのだそうです。これでおわかりのように、保健医療福祉という言葉が、どこにも出てきません。世の中のさまざまのしあわせは、健康であつてこそはじめて味わえるものであり、健康が人間社会での出発点だと思われるのですが、広島県もまた、二十一世紀になつても、保健医療福祉には重点的取組はしてくれない様です。保健医療福祉は、躍進する社会の縁の下の力持ちであるが、もう少し政治の光をあててほしいものです。

広島市の老人保健福祉計画について

最近、「ゴールドプラン」という言葉をよく耳にします。近づく高齢化社会に向けて、行政が策定したこの計画についての情報を、リハビリの久保田先生にまとめて頂きました。

ビスを計画的総合的に実施できるよう、老人保健福祉計画を策定することになった。

▼② 広島市老人保健福祉計画の内容

※表1

- I. 計画の目標年次及び計画期間
 - (1) 目標年次平成12年(西暦2000年)
 - (2) 計画期間 平成5~11年度(七ヶ年)
- II. 計画の対象となる要援護高齢者の状況

※表1

III. 計画策定の基本的な考え方

- (1) : 高齢者が、何らかの援護を必要とする状態となつても、引き続き住み慣れた家庭や地域社会において生活を送つていくことができるよう、ホームヘルパー等の在宅福祉サービス及びリハビリ等の保健・医療サービスの拡充を図る
- (2) : 在宅での生活が困難な高齢者が安心して生活できるよう、特別養護老人ホーム、老人保健施設等の施設を計画的に整備する。
- (3) : 援護を必要とする高齢者が、必要なとくに適切なサービスを、身近な地域で利用できるよう、保健・医療・福祉相互の連携及び地域福祉活動との連携に努め、高齢者の生活を総合的に支援するための包括的なサービスシステムの構築を図る。
- (4) : 高齢者が生きがいを持ち、安心して快適な生活を送つていくことができるよう、高齢者の健康づくりや生きがいづくりを推進すると共に、高齢者に配慮した都市基盤等に努める。

計画の対象となる要援護高齢者の状況

区分	(19.8%)人	平成2年(1990年)		平成12年(2000年)	
		構成比	%	構成比	%
65歳以上人口	106,591	100.0	%	144,000	100.0
1ねたきりの高齢者	5,040	4.7	%	6,800	4.7
2要介護の痴呆性の高齢者	1,100	1.1	%	1,500	1.1
3虚弱高齢者(在宅)	2,880	2.7	%	3,950	2.7
4軽度の痴呆性の高齢者(在宅)	1,390	1.3	%	1,960	1.4
要介護高齢者(1+2)	6,140	5.8	%	8,300	5.8
要援護高齢者(1+2+3+4)	10,410	9.8	%	14,210	9.9

1 65歳以上人口は、平成2年については総務省統計局「国勢調査」、平成12年については広島市第3次基本計画による。

2 ()は高齢率を表す。

3 痴呆症状のあるねたきりの高齢者は、ねたきりの高齢者の中に含む。

4 構成比は65歳以上人口に対する割合を表す。

IV. 保健・福祉サービスの整備目標

- (1) : 在宅サービス→在宅にあっては、ねたきりや要介護の痴呆性の高齢者がいる高齢者の夫婦世帯にはほぼ毎日何らかの保健・福祉サービスを提供するなど、高齢者の住宅における自立した生活が送れるよう設定
- (2) : 施設整備→施設サービスにあっては、施設への入所ニーズの増大や高度化・多様化に対応して、各施設の量的確保及び質的向上が図れるよう設定

※表2・3

V. サービスを提供する人材の養成・確保

- 援護を必要とする高齢者の増大等に伴う保健・医療・福祉サービスの増大や高度化、多様化に対応するため、職場環境の改善や各種研修の実施等を行い、人材の量的確保と質的向上を図る。

※表4・5

VI. 保健・医療・福祉の連携

VII. その他

(1) 健康づくりの推進

(2) 生きがいづくりの推進

(3) すみやすいまちづくりの推進

(リハビリ
久保田一義)

表2

表3

表4

表5

福祉サービス

区分	現行(4年度末)	平成12年目標数	平成5~11年度計画
ホームヘルパー	128人	449人	321人
ティサービスセンター	16か所	35か所	19か所
ショートステイ専用床	122床	318床	196床
在宅介護支援センター	6か所	27か所	21か所
訪問入浴サービス	2チーム	17チーム	15チーム

保健サービス

区分	現行(4年度実績)	平成12年目標数	平成5~11年度計画
健 康 教 習	1,144回	1,325回	181回
健 康 相 談	3,576回	4,108回	532回
健 康 診 痞	15.4%	50.0%	34.6%
基本健康診査	10~10.4%	30.0%	29.0~19.6%
かん検査	6,868人	21,455人	14,567人
訪 問 指 導	41,665人	41,665人	41,665人
訪 問 看 護	2,593人	12,465人	9,872人
健 能 訓 練			

福祉施設

区分	現行(4年度末)		平成12年目標数		平成5~11年度計画	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
特別養護老人ホーム	24	1,565	34	2,105	10	540
ナースホーム	—	—	5	250	5	250

保健施設

区分	現行(4年度末)		平成12年目標数		平成5~11年度計画	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
老人保健施設	3	288	15	1,440	12	1,152

平成七年忘年会

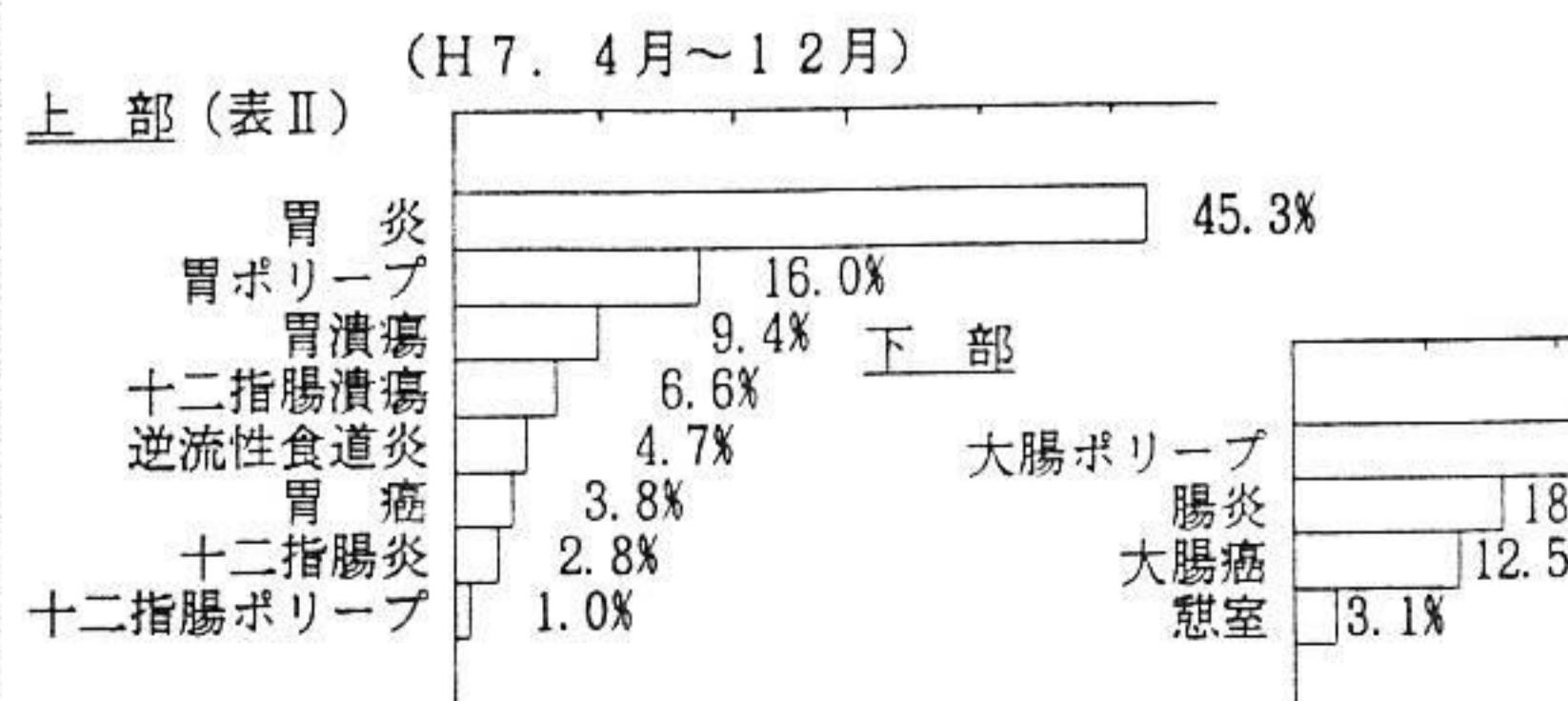
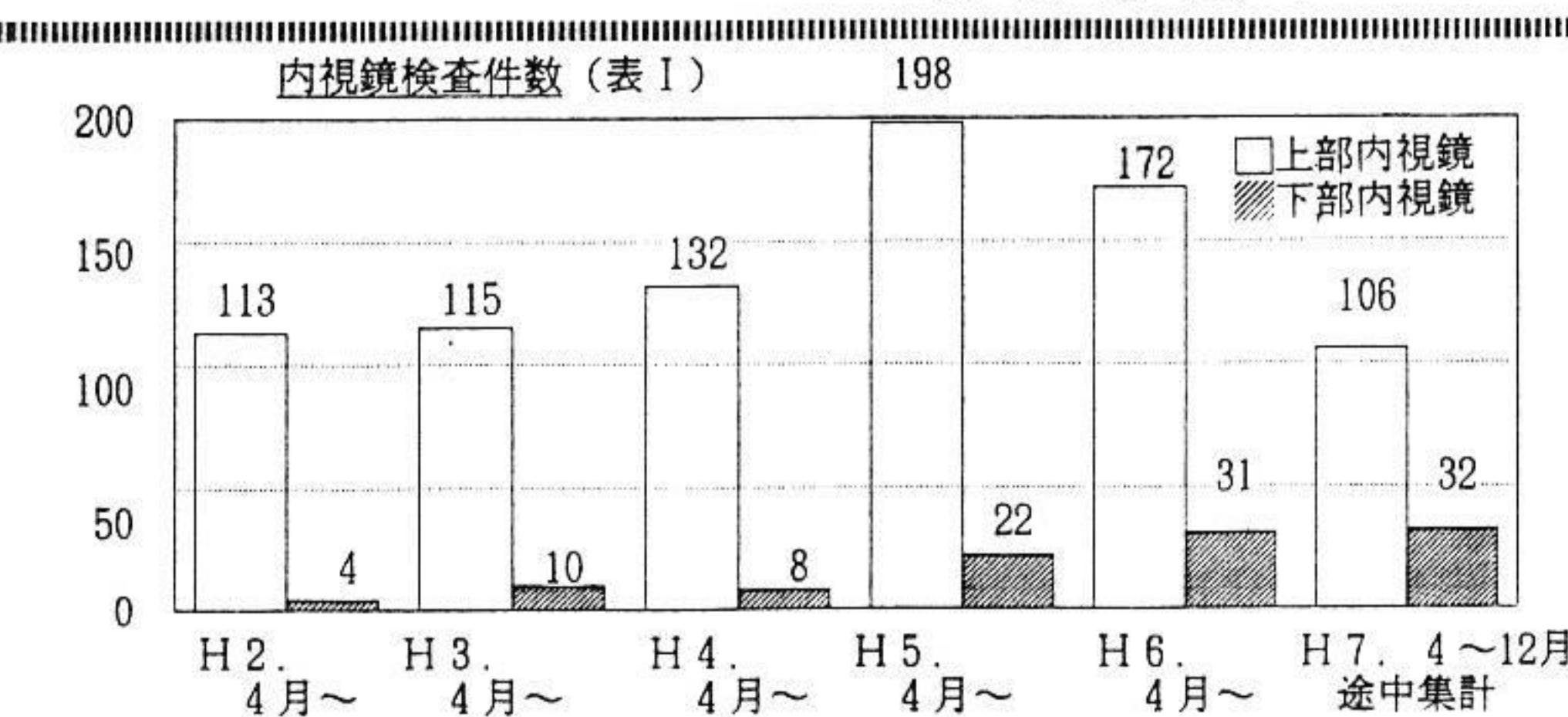
今年もやってきました忘年会シーズン。毎年色々な出し物で盛り上がっていますが、今年も負けない程、楽しい時間が過ごせました。ポッキーで輪ゴムを渡す時は、思わず顔と顔がくっつきそうになり、赤面、又、榎本先生手作りのケーキは抜群でした。今回が楽しみですね。皆さんお疲れ様でした。

役員の皆さんご苦労様でした。（石本 美紀）



全員でハイポーズ！

抱負：一月の終わりから	S 46・7・19生	趣味	3F☆原田 静江	新人紹介	1
出身地	五日市	テニス		《看護部門》	



患者さんも熱唱

当院では、平成2年4月から消化器内視鏡を行っています。今回、平成7年12月現在までの状況をまとめてみました。（表I表II）件数（特に下部内視鏡）は増加傾向でした。今後一層、内視鏡を、診断及び治療に役立て行きたいと思います。

消化器内視鏡だより

内科 野島 啓子

野村先生結婚おめでとう

ラブラブファイヤー!!

インタビュー

隨筆

(平成七年十一月三日挙式)

「雪の夜に思うこと」

寺田 陽子



初めて出会った場所は?

バス。

プロポーズの場所、言葉は?

ファミレスで「結婚しよう」

初めてデートした場所は?

ファミレス(中区) (笑)

奥様の第一印象は?

ん~、難しいね~。

では、動物に例えると?

かわいい奥さんということですね。

かわいい奥さんといふことですか?

そーですなー。

こういうことを聞かれるのは苦手とか?

明確な答えを出すのが難しい。

どんなところが良かつたか、強いて言え

ば自分の性格と近いからだと思う。

結婚して良かつたことは?

ご飯がある。(笑)

明確な答えをありがとうございます。

お子様の予定は?

しばらくないですが一人か二人でしょ

うどんな家庭にしてゆきたいですか?

ん~、そうじゃね~、幸せな家庭に:::

どうかお幸せに:::(笑)

ポーカーフェイスが少しくずれながらのイン

タビューでしたが如何でしたでしょうか。

野村先生御協力ありがとうございました。

新人紹介

2

《看護部門》

2F☆竹島 千浪

S 41・3・3生

趣味 華道

出身地 高田郡

S 44・2・20生

2F☆浅水美由紀

放射線

H 8・1・22 小橋 里加

ゆっくりと体調をととのえて、また看護婦として働け

る様になり、とてもうれしく思っています。一日も早く

く、皆さんにおいつけるよう頑張りたいと思います。

宜しくお願ひします。

F ほんわか春よ早く来て!!

特技 手抜き料理かな?

でき嬉しく思っています。

迷惑をかけることも多々あ

ると思いませんがどうぞよろ

しくお願ひします。

ヨロシクネ♥ (の)

新聞といえば「麦の穂」

万年豊作を祈つて皆さん

で育てね。

*新年の抱負のコーナー

で山本総婦長さんを掲載

できなかつたことをこの

場でお詫び申し上げます

聞いたピー・ポーの中にあって入院されたと聞いて、今更ながら、世の不思議を考えています。おられません。明日は我が身ということもあります。何も知らずに過していく

た若い時の頃が胸中をよぎります。雪景色。久しぶりに冬らしい冬でしたね。A・A

りますが、時には思い疲れてうたた寝して短い夢をみこともあります。浅い眠りと夢がこっちやになってハッと目が覚め、そつと窓のカーテンをたぐってみると、いつの間にか綿帽子が二十センチ

位になつていて、ああ、ミーちゃん(猫)をオシッコに連れて出ておかないと、

また、ころえている猫がいじらしくなつてくることがあります。

ツだぜ!! ウルフルいも

次号もより充実を!! K

春だ。春だ。暖かい季節と一緒に、心のこもつ

た新聞はいかが? M・I

あほあほパワーでガッ

真っ白になつて土が無くなつたら::。

ツだぜ!! ウルフルいも

早く寒い冬から解放されたい! だけど、スキ

もまだ滑りたい! T

や先」といつかはその日の為に、益々元

あたたかい春が早くき

氣を出して日々の事を片付けておかなけ

ればと、思っています。そして、人の世

の幸福を祈らずにはおられません。

今回から、新聞委員デ

ビュ―しました。

新聞といふことは

お詫び申し上げます。

お詫び申し上げます。

お詫び申し上げます。

お詫び申し上げます。

お詫び申し上げます。